

大学における研究力向上への新たな取組み(第2報) ～学科の枠を超えた研究プロジェクトチームの取組み～

○内島典子(北見工業大学 地域共同研究センター)

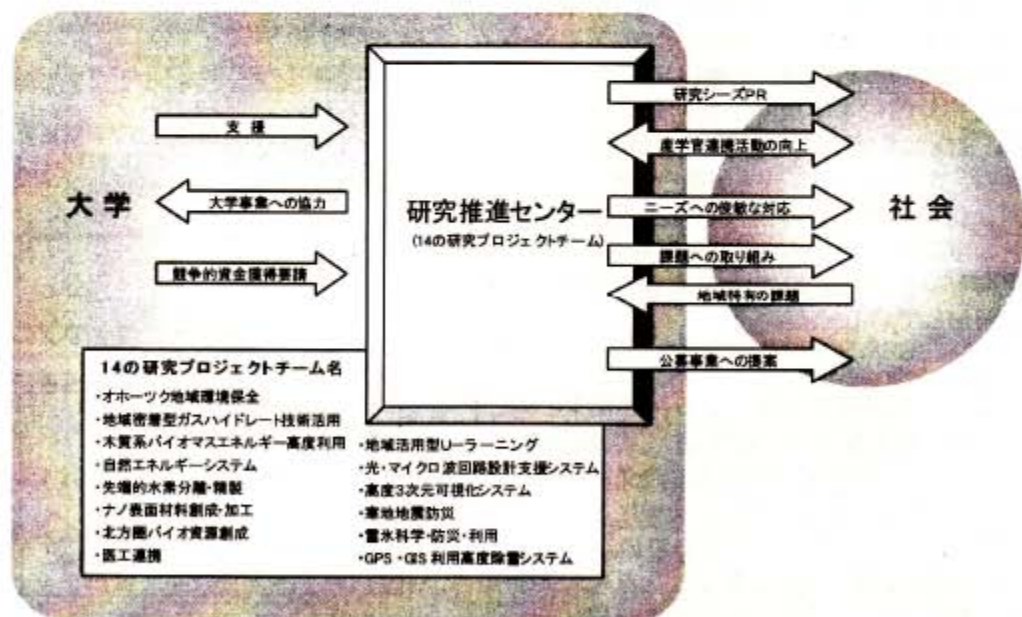
鞘師 守(北見工業大学 地域共同研究センター)

1. はじめに

北見工業大学は日本最北端の国立大学であり、その立地環境を最大限に活かした寒冷域工学の拠点形成を目指している。「エネルギー・環境部門」、「バイオ・材料科学部門」、「情報科学部門」、「社会基盤部門」の4つの重点研究分野に基づいた研究を展開している。平成17年4月、教員全体の研究意識が同じベクトルを持ち、本学全体の研究力向上と、これまでに培ってきた特色ある研究分野の飛躍的向上を目指し、研究推進センターと呼ばれる、学科の壁を超えた大型研究プロジェクト組織が14チーム発足した¹⁾。

2. 研究推進センターの取組み

研究推進センターは1チームあたり4～11名の教員で構成されている。各センターは構成教員により幅広い専門領域の視点を持ち、地域独特の課題への取り組みや、大型外部資金導入へと繋がる競争的資金獲得にむけた公募事業への提案などに取り組んでいる。チーム構成員において、相互の専門領域に関する情報交換を行い、新規研究分野を創出している。14チームの研究テーマは社会に対して北見工業大学の明確な特色を打ち出す事が可能となり、本学におけるさらなる産学官連携活動を推し進めている。研究推進センターの発足により、具体的かつ明確に本学の研究活動を社会にPRすることは、学内においても教員の研究意欲を奮い立たせている。



3. まとめ

各プロジェクトチームの研究推進へのモチベーションや取組み内容は様々である。研究推進センターは幅広い専門領域の視点より研究テーマに取り組むことで、その研究水準の向上や成果の社会への還元、そして新たな研究分野の創出へと繋がっている。

1) 「大学における研究力向上への新たな取組み-学科の枠を超えた研究プロジェクトチームの発足-」, 産学連携学会第4回大会(平成18年6月)内島典子, 鞘師守。